



2  
Feb. 2023  
No.811

煌<sup>きら</sup>び<sup>ら</sup>やかに<sup>は</sup>二十<sup>た</sup>歳<sup>ち</sup>の門出を  
煌<sup>きら</sup>び<sup>ら</sup>やかに<sup>は</sup>二十<sup>た</sup>歳<sup>ち</sup>の門出を  
煌<sup>きら</sup>び<sup>ら</sup>やかに<sup>は</sup>二十<sup>た</sup>歳<sup>ち</sup>の門出を  
煌<sup>きら</sup>び<sup>ら</sup>やかに<sup>は</sup>二十<sup>た</sup>歳<sup>ち</sup>の門出を

2月号の主な掲載記事

<input checked="" type="checkbox"/> <sup>は</sup> 二十 <sup>た</sup> 歳 <sup>ち</sup> を祝う会	P. 2
<input checked="" type="checkbox"/> 所得申告相談が始まります	P. 12



祝

—新時代への船出—

は た ち  
二十歳を祝う会



令和5年1月8日(日)に、涌谷公民館で二十歳を祝う会が開かれました。

民法の改正によって、成人年齢が18歳に引き下げられたことにより、令和5年から二十歳を祝う会と名称を変更し、令和4年度中に20歳を迎えた皆さんを対象に執り行われました。

長引くコロナ禍によって青春時代に大きな制限が課せられてきましたが、次代の担い手として決意と希望にあふれるまなざしで式典に臨んでいました。

また、恩師や友人などとの再会を心から喜ぶ機会ともなりました。



# 二十歳の抱負

二十歳を祝う会にあたり、  
代表の2人が壇上で発表した二十歳の抱負を紹介します。



石川 諄<sup>しん</sup>さん  
(下郡区)

今日という日があるのは、これまで私たちを守り、支えてくださった地域の方々、共に学び笑い合いながらたくさんのお祝い出を共有してきたかけがえのない友人たち、熱心にご指導してくださった先生方、そして、20年間たくさんの愛情を注ぎ育ててもらい、一番近くで見守ってくれた家族の皆さんのおかげです。心から感謝申し上げます。

僕はラジオディレクターを目指し高校卒業後、宮城を離れ東京の専門学校へ進学しました。きっかけは幼少期に母から頂いた小さなラジオでした。夜中に一人でラジオを聞くと電波から送られてくる声にもかかわらず、不思議なあたたかさがありました。ラジオでは「リスナーの皆さん」ではなく、「リスナーのあなた」と言い、まるで自分とラジオがコミュニケーションを

とっているように感じられるのが魅力だと思います。そんな魅力を伝えるとともに、自分も誰かに寄り添えるような番組を作りたいと思うようになりました。

学校ではテレビやラジオの番組構成の違いやメディアのあり方などを学んでいます。

番組を製作する実習ではリスナーが何を求めているか、また聞いてもらえるようにするにはどうしたらいいかなども考えながら取り組んでいます。情報社会を生きる私たちにとってメディアを有用なものへと活用し、社会に貢献することができればと思っています。

また、初めて故郷を離れてさまざまな経験をする中、自分の故郷を外から見たときに浦谷町への思いの深さを再確認することができました。そのため、生まれ育った浦谷町の魅力を伝えていけるよう日々邁進<sup>まいしん</sup>していきます。

私たちは二十歳を迎え、すでに職業に従事している人や学業に励んでいる人など、立場はさまざまですが、社会の一員として前進していく覚悟でおります。



田原 捺<sup>なつき</sup>季<sup>き</sup>さん  
(5の1区)

今日という日を迎えることができましたのも、これまで私たちを守り、支えてくださった地域の皆さん、辛いときもうれしいときも共に歩み成長してきた友人、そして何より私たちが深い愛情で包み込み、何があっても一番の見方でいてくれた家族のおかげだと思います。この場を借りてすべての皆さまに感謝申し上げます。

これまでの人生を振り返り、私が20年間の中で学んだこと、そしてこれからも大切にしていきたいことが3つあります。

1つ目は感謝する気持ちです。どんな些細<sup>ちさい</sup>なことにも「ありがとう」という気持ちを忘れず持ち、積極的に伝えることで、良い気持ちやより良い成果といった好循環につながると考えています。2つ目は人との縁やつながりです。今

まで私とかかわりのあった縁やつながり、そして、これからの新しい出会いを大事にして、日々邁進<sup>まいしん</sup>してまいります。3つ目は失敗を恐れず挑戦することです。社会に出るにあたり、たくさんの選択を迫られる場面や目の前にたくさんのお困難<sup>くわんなん</sup>が立ちはだかると思いますが、自分の直感を信じ、挑戦を恐れず、そこから得た学びを大切にしていきたいと思えます。

以上の3つは、職種や年齢を問わず、人生においてどの瞬間も大切なものだと考えております。私は現在、英語を生かした職種を目指し、日々勉強に励んでおります。英語を深く学ぶことによって、英語という言語の成り立ちや歴史、英語圏の文化の深い理解につながり、グローバルな人材や多文化共生社会を促進する一員になることができると考えております。感謝の気持ちや人とのつながり、常に挑戦する心を持ち合わせ、仕事をすることによって多種多様なバググラウンドがある人との交流やビジネス、生活の手助けとなるような人間になれるのではないかと私は思います。



二十歳になってもあの頃と変わらない笑顔で—



①

《写真解説》

①あでやかな振り袖に身を包んだ二十歳の皆さん  
 ②あの頃と変わらない柏谷写真館さんの掛け声に合わせて笑顔でピースサイン  
 ③二十歳の代表者2人が二十歳の誓いを朗読  
 ④恩師から二十歳になった教え子たちに伝えられる励ましの言葉  
 ⑤教え子と恩師の新たな思い出の1ページを撮影  
 ⑥今年も城山の金さんがお祝いにつけました



④



③

穏やかな門出

日本海側で続く豪雪とは打って変わって積雪がほとんどない令和5年の新春。祝う会当日は、早朝から涌谷町一帯が濃霧に包まれていましたが、初の二十歳を祝う会を祝福するように、式典が始まる頃には霧が晴れ、青空を望める穏やかな天候となりました。

この日、二十歳を祝う会の対象者となったのは、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた153人です。新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、107人(男性59人・女性48人)が出席しました。受付が開始された9時30分頃から、気品漂うシヨールと煌びやかな振り袖を着付けた女性と凛々しくスーツや袴を着こなした男性が続々と来場。お互い



⑤

の成長・変化への驚きと久しぶりの再会を喜ぶ歓声が上がリ、あちこちで記念撮影を楽しみ姿が見られました。なお、昨年引き続き、今回も新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から出席者を制限しましたが、中学校3年生時の学年主任・クラス担任の皆さんには出席していただきました。式典終了後には、クラス単位で恩師を囲み、撮影時のみマスクを外して記念撮影を行い、各担任から卒業時に各自が書いた自分への手紙を受け取り、思い出話に花を咲かせていました。



## 二十歳の決意

二十歳代表が答える  
二十歳になった思いを一問一答



《二十歳代表の4人》

【左上】田原捺季さん  
(5の1区)

【右上】櫻田瑞希さん  
(下町区)

【左下】石川諄さん  
(下郡区)

【右下】阿部克己さん  
(2の2区)

Q. 今の夢は？

A. 1 具体的な職業は決まっていますが、地域に役立つ仕事に就けたら良いと考えています。

A. 2 地域貢献と幸せな家庭を築くことです。

Q. 二十歳になり、誰に感謝していますか？

A. 1 両親です。20年間育ててくれたこと、不自由なくやりたいことを応援してくれたことに感謝。

A. 2 家族やこれまでかかわってきたすべての人たち。

Q. 涌谷町のこんなところが好き！  
自慢したい！誇りたい！

A. 1 地域・人とのつながりが密接で、あたたかい人が多いところ。

A. 2 自然が多いところ。

Q. これからの涌谷町のため、  
私は●●ができる、または、したい！

A. 1 将来、涌谷町の良さを伝えられるような番組を作りたい。

A. 2 涌谷町をPRしていきたい。

Q. 二十歳の抱負を一言で！

A. 1 一人の社会人として自覚と責任を持ち、何事にも努力していきたい。

A. 2 今しかできないことを全力で楽しみながら1日を大切にしていきたい。

A. 3 これまでかかわってくれた皆さんへの感謝を伝えていながら、自立した大人になりたい。

A. 4 これまでかかわってくれた人々への感謝を忘れずに、責任感を強く持った自立した人になる。

### 変わることはない

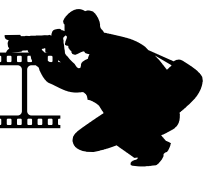
#### 二十歳のつどい

民法の改正による式典の名称変更やコロナ禍の影響によるマスク着用など、時代によって変化してきた二十歳を祝う会。

しかし、二十歳の皆さんが一堂に会し、お互いの近況確認を行い、思い出に浸り、絆を強くする場であることに変わりはありませんでした。

今後培う知識や技術、そして、紡いできた絆を大切にし、ふるさと涌谷町の今後の発展にお力添えをお願いします。





## 涌谷第一小学校マーチングバンド 2年連続で全国大会に出場しました

12月10日(土)に、さいたまスーパーアリーナで開催された第50回マーチングバンド全国大会に、涌谷第一小学校マーチングバンドが出場しました。

涌谷第一小学校マーチングバンドの全国大会への出場は、昨年大阪城ホールで開催された全日本小学生バンドフェスティバルに続いて2年連続の出場です。

今回も保護者会手作りの衣装を着て、宮城県の代表として堂々と演奏してきました。



## 1年の無事故・無火災・無災害を祈念して 出初式を挙行了しました

1月4日(水)に、涌谷町役場大会議室において、涌谷町交通安全指導隊の出初式を行いました。式には、凛々しい隊服を着た交通安全指導隊の皆さんが出席。涌谷町では、令和4年9月17日(土)に交通死亡事故ゼロの日を1000日達成して以来、交通死亡事故ゼロの日が続いていることから、令和5年も継続するよう、隊員と遠田警察署、遠田地区交通安全協会、涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会の皆さんで、気持ちを新たにしました。

また、1月15日(日)には、涌谷町消防団による出初式が挙行され、無火災・無災害を祈念しました。式典に先立ち、コロナ禍の影響で3年ぶりとなった部隊行進が月将館小学校から勤労福祉センターにかけて行われ、威風堂々とした消防団員の勇姿を見るため、沿道に多くの方が集まりました。式典では、新入団員への辞令交付を皮切りに、団員のこれまでの功績に対する表彰伝達が行われました。式の終盤には、同じく3年ぶりにはしご班によるはしご乗りが披露されました。コロナ禍で限られた練習時間ではありましたが、次々に繰り出される離れ業で魅了しました。

なお、涌谷町内における交通事故・火災の情勢は、交通事故件数では人身事故20件(前年対比+5件)、負傷者数24人(前年対比+1人)、物損事故302件(前年対比+6件)、火災件数は2件(前年対比-4件)で、内訳としては建物火災1件、その他火災1件でした。令和5年も安全・安心な涌谷町であり続けるよう、ご協力をお願いします。



## 令和5年1月1日から着任 夫婦で涌谷町地域おこし協力隊に

令和5年1月1日(日)から新たに涌谷町地域おこし協力隊として宮澤達さん・順子さん夫婦が着任しました。

2人は、仙台市からの転入で、2人の子どもとともに転入してまいりました。

今後、涌谷町内での起業を目標に、さまざまなイベント企画やSNSを活用した情報発信、映像制作などを通じて涌谷町の地域おこしに取り組んでまいります。自己紹介や活動に対する抱負は、広報わくや2月号(18ページ)と3月号の地域おこし協力隊コラムをご覧ください。



**感染拡大に配慮して開催  
令和5年新春のつどいを開催**

1月5日(木)に、涌谷公民館において、令和5年新春のつどいを開催しました。コロナ禍によって3年ぶりとなった町民の皆さんが一堂に会して新年を祝う行事ですが、感染拡大防止に配慮するため、飲食を伴わないアトラクションを楽しむ形に変更。

アトラクションでは、生田流箏曲繡園会による琴と三味線の演奏、日本民謡江潮会の吉目木栄さんによる民謡・演歌、涌谷太鼓の皆さんによる勇壮な太鼓演奏が披露され、新春の祝いの席を盛り上げました。



**コンサートでクリスマスを楽しむ  
あきらちゃんとジャンプくんコンサート**

12月18日(日)に、子どもの丘保育所において、令和4年となって2回目のコンサートが開かれました。

コンサートには、約50人の親子が参加し、その中には、かつて幼少期にあきらちゃんのコンサートでファンになったという兵庫県西宮市在住の親子が来場していました。

クリスマスまで1週間前の今回は、クリスマスあそびうたコンサートをテーマとして、代表曲「秘伝ラーメン体操」を中心に約1時間にわたり、歌って、踊って、手遊びをして楽しみました。



**子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告  
ハーブ講座～アロマワックスプレート作り～**

12月19日(月)に、涌谷町町民医療福祉センター集団検診室でハーブクラフトビオラの松ヶ根先生を講師に、『ハーブ講座～アロマワックスプレート作り～』を開催しました。クリスマスバージョンのさまざまな花材やリボンで個性あふれる仕上がりとなりました。

また、ワックスプレートのロウが固まるまでの時間で魔除けや病気予防とされている柚子ポマンダー作りもさせていただきました。

部屋中良い香りに包まれ、リフレッシュする時間を過ごすことができました。

**遠藤釈雄町長コラム**

**4年の月日**

涌谷町政を担って早や4年、多くの行政責任を果たさせていただきながら、町財政の建て直し、病院運営の改善と夢中で過ごした日々だった。台風や大雨、大地震にも襲われ、新型コロナウイルス感染症も続いている。初めは戸惑いもあったが、何処の首長も皆、必死の努力をされている。我が町を発展させるにはまだまだ努力不足であった。改めて町民の皆様の想いを受け止めながら、職員の知恵と力を結集しながら、更に頑張らなければならない、と反省している。

**《遠藤釈雄町長の公務(12月16日～1月15日)》**

- 12月28日(水) 仕事納め式 (役場)
- 1月 4日(水) 仕事始め式・交通安全指導隊出初式 (役場)
- 1月 5日(木) 新春のつどい (涌谷公民館)
- 1月 6日(金) 涌谷町議会定例会1月会議 (議場)
- 1月 8日(日) 涌谷町二十歳を祝う会 (涌谷公民館)
- 1月10日(火) 民生委員児童委員協議会定例会 (役場)
- 1月13日(金) 遠田商工会安全祈願祭 (町内)
- 1月15日(日) 涌谷町消防団出初式 (町内)